



Behavioral Science

2012

*The Annual Meeting of
the Japanese Association of Behavioral Science*

年次大会テーマ：日本における行動科学の『これまで』と『これから』
企画者：高瀬 堅吉（東邦大学）

教育講演 伊藤 正人（大阪市立大学）

教育講演テーマ：日本におけるこれまでの行動科学－総括と継承
「実験的行動分析の40年：回避行動から社会的行動まで」

特別講演 金杉 武司（高千穂大学）

特別講演テーマ：行動科学を考える－根底に横たわる諸問題の提起
「行動科学の哲学－行動科学の多様性とインターフェース問題」

シンポジウム

シンポジウムテーマ：日本におけるこれからの行動科学－求められる学際性と国際性

1) 高瀬 堅吉（行動科学・分子生物学）

「摂食関連ペプチドMCHの多様な役割と、各行動に与える効果量のメタ分析」

2) 荒川 歩（武蔵野美術大学）（行動科学・法学）

「モード2としての法と行動科学とその課題」

3) 川畑 秀明（慶応義塾大学）（行動科学・芸術）

「行動と脳と芸術をつなげる：現状とその課題」

年次大会終了後に懇親会を予定しております。

日本行動科学学会2012年度年次大会

2012年 9月 10日（月） 13：00～18：00

September 10 (Mon.), 2012

東邦大学医学部二号館 第1講義室

参加費

会員 : 1,000円

非会員 : 1,500円